



私たちの

町議会 びらり

ここが聞きたい一般質問

P 2

委員会報告

P 6

審議した議案

P 8

議会の仕組み

P 9

あの人に聞く

P 10



アート書道 作：朱田^{しゅだ}年秀^{としひで}氏

荷菜在住

空き家コーディネーター

(地域おこし協力隊)

- ・勝ちに不思議あり
- ・負けに不思議なし

(野村克也氏の名言)

vol.124 2025.8.8

ここが聞きたい一般質問

※この文章は一般質問した議員本人が要約・作成したものを基に作成しております。
 全内容は平取町ホームページの平取町議会会議録をご覧ください。



ちば よしのり
 葉 良則 議員

平取町地域公共交通の

推進と課題について

問 地域内交通として現在運行

しているデマンドバスをはじめ様々な送迎バスがありますが、近年高齢化や人口減少が進む中で現状のまま運行形態を継続していくには多くの課題があると思う。今後の改善策や取組を伺います。

答 (まちづくり課長)

デマンドバスについてはアイヌ政策推進交付金を充当しています。地域により利用形態が異なりますが、特に振内地区においては利用者の減少があるので、是正を図りながら取り組めます。また路線バスとの接続課題もあり、見やすい時刻表への改善などを検討して、区域内はデマンドバスで楽に移動できる様に他の交通機関とも協議をします。



△道南バス

問 富川にオープンするバスター

ミナルの活用では、貫気別や振内町等から乗り換えなしで移動ができるよう検討してはいかがか。

答 (まちづくり課長)

バスターミナルは有効に利用して行く考えです。ボランティア有償運送や地元タクシー事業者の参入協力などの可能性について、今後打ち合わせをしていきます。

問 令和6年度に実証運行したシ

ンタ号についてアンケート結果や今後の運行について伺います。

答 (観光商工課長)

35日間で171名の利用があり、事業継続の希望が多くありました。今年度はアイヌ政策推進交付金事業で、昨年同様の期間での運行を予定しています。

問 大きな地域格差が生じないよ

うに、今後も地域交通整備に努力してほしいが、町長の見解を伺います。

答 (町長)

刻々と変わる人口動態や高齢化の状況もあり、大きな課題がある認識です。関係者の意見や知見を頂きながら、既存のタクシー事業者の持続的な経営も担保し保障しながら進めて行く考えです。



なかがわ よしのり
 中川 嘉久 議員

児童数減少をかんがみ 学校適正化計画の検討を

問 3学級15名以下になると教員

が1名減らされます。小規模校の場合、教員が減ると負担も大きくなることから、児童・生徒の状況にあわせるサポート、加配措置の対応はできないのか。

答 (生涯学習課長)

今後小学校の人数が減少した状況で条件に当てはまる加配については見通しが立っていない状況ではありますが、教員の負担にならない有効な加配がありましたら、申請を検討したいと考えています。

※加配とは

効果的な指導方法等に取り組む学校に対し、基準定数を超えて特別に教職員を配置すること。

問 今後地域や保護者の対話を進

めるために、事前に子ども達の教育環境に関する計画を検討しアンケート調査を実施することで将来像が見えてくるのではないかと思います。具体的に学校規模の適正化、学区の見直し、学区区間の連携など、平取町の地域特性を生かした適正化計画を進めてはいかがでしょうか。

答 (教育長)

それぞれの学区の特性もありますので、その部分を考慮しながら進めていくことが重要だと思います。しかし十分に協議する時間を持たな

▽令和7年～12年の児童・生徒の推移（減少率）

	令和7年	令和12年	減少率
紫雲古津小学校	29	9	69%
平取小学校	114	83	27%
二風谷小学校	17	7	59%
貫気別小学校	14	12	14%
振内小学校	27	22	19%
平取中学校	91	83	9%
振内中学校	13	13	0%

（単位：人）

いまま、教育委員会が児童・生徒数減少を理由に一方的に統廃合の計画を提案することは避けなければなりません。必要なことは、子ども達がどのような環境の中で学校生活を送っているか把握すること、もう一つは子ども達を支える保護者、地域住民の考え方を十分に聞き取ることだと思っています。今後、将来の学校について、保護者・地域から何か要請があった場合には、協議の方法やスケジュール、あるいはアンケートの必要性など、その状況に応じた内容や方法について十分に相談しながら対応していきたいと思っています。



きむら ひでひこ
木村 英彦 議員

設計業務について

問 町がコンサルタントに設計を発注していますが、その中で、問題が起きた場合、業者に対し町がペナルティを科すことはあるのか伺います。

答 （建設水道課長）

委託設計の業務の契約書約款の中で、契約不適合責任期間を設けており、そのような案件があった場合については、この条項を適用して、業者と対応していくことになります。これまでではペナルティを科すような事実はありませんでした。

現状としては設計業務期間の段階から、関係課、関係団体等々、細部に渡って協議をしながら設計を進めていると認識しています。

今後は業務に対する評価制度を策定し、指名選考委員会の中に反映できるように形で対応していきたいと考えます。

町の住宅事情について

問 平取町では今年度も地域おこし協力隊や各アイヌ政策推進交付金事業などで働く若者が多くいますが、住むところがなく、苦労しているようです。単身者の住宅事情はどのようなになっているのか伺います。

答 （まちづくり課長）

町内の賃貸アパートは、間取りや部屋数をご紹介をするという形でウェブページに上げています。振内には単身者住宅があり、このほか役場職員住宅、教職員住宅等の住宅が整備されています。

問 町は地域おこし協力隊制度の活用を広げてきていますが、本人の条件に合う住居が揃っているとは言えず、また空きも少ない状況です。十分に活動してもらうには、住環境が大事だと思いますが、何か対策はあるのか伺います。

答 （まちづくり課長）

地域おこし協力隊員の住居については担当課で責任を持って確保したうえで募集をかけるようになってい

ます。基本的には将来、移住、定住をしていただきたい狙いもある施策なので、住環境は十分整えて対応するよう担当課に周知をしています。ご指摘がある部分で賃貸アパート等は特に問い合わせが多く、なかなか住居が見つからないという状況です。町としてもこの部分はしっかり確保したいということで、賃貸アパートを建てる補助金を拡充しながら実施していますが、採算性の面や人口減少で空き家率が高まるリスクがある中、令和4年以降、建設には至っていません。現在町外に住んでいる方にアンケートをとった結果、空きがあれば入りたいという方が19名程いることもわかりました。その分が足りていないと捉えており、事業者と相談をして今後進めていきたいと思っています。



△単身者住宅（ハイツほろしり）



議員 樹秀 崎廣

地方創生2.0の

取り組みについて

問 地方創生2.0基本構想が閣議決定されておりますが、先の地方創生1.0においての当町の取り組みの総括について伺います。

答 (まちづくり課長)

多くの事業展開の中で成功例もありますが反省点も多く、人口減少、地域経済の縮小を克服するという取り組みでしたが、人口減少を押しとどめる目標については、ほかの自治体同様あまり達成できませんでした。

問 新しい方針では「多様な主体が連携し地域づくりを進める」と示されており「産官学金労言士」の連携が謳われておりますが、その体制について伺います。

答 (まちづくり課長)

「産官学」の部分については前回同様可能と、「金労言士」の部分は検討が必要かと考えます。

問 今回の取り組みについては、「町村域を超えて多様な主体が広域的に連携し施策を面的に展開する」という表現がありますが、自治体間連携で「地方創生」の協議体を進められないか伺います。

答 (まちづくり課長)

前回、金融機関やマスコミという部分を取り入れることができなかったのは、一つの自治体だと小規模過ぎるという事がありました。近隣自治体と協議体をつくれなにか検討して参ります。

問 石破総理は令和2年に平取町を訪れ食や文化に触れております。町として、来町していることを有効に使い「地方創生」に取り組む事が大事と考えるが伺います。

答 (町長)

総理は、非常に地方に関する視点で、ほかの国会議員方とは違うという印象を来町時私は持ちました。「地方創生」の取組にあたり、国の考え方も含めた中で、平取町なりの広域的な視点も今後必須だと思っておりますので、それを勘案しながら進めて参ります。

予算編成時の経常経費算定における課題について

問 平取町自治会総合交付金規則に基づき交付されている自治会交付金について、この規則でうたわれている単価や補助率は、いつから変更されていないのか伺います。

答 (総務課長)

少なくとも40年くらいは改正されていません。

問 自治会や町内会でまちだよりを配布する担当者の受け持ち戸数にあたる「標準担当世帯数」について変更の考えがないか伺います。

答 (総務課長)

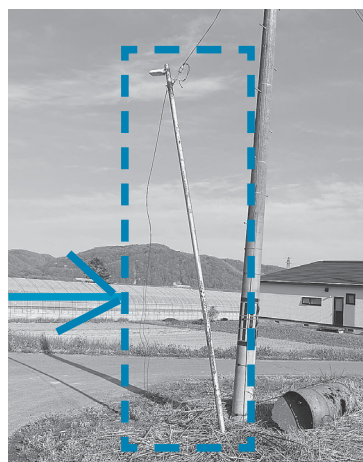
「標準担当世帯数」の考え方や、戸数の変更か、算出の仕方を実態に合う数字を当てはめ計算する方法にするのか、それらも含めて、今後、全体的な見直しを考えます。

問 防犯灯維持費はLED改修が事業費の3分の2補助です。設置からかなり年数が経過しており、ポールの腐食も増えています。年間複数基の改修が必要と聞いています。行

政で全額又は9割の補助ができないか伺います。

答 (町民課長)

防犯灯の改修については20年以上補助率が変わっていません。見直す方向で検討します。



▷改修が必要な防犯灯

問 敬老会対象者に対する補助金は一人あたり2000円となっております。敬老会運営に対する経費を加えることはできないか伺います。

答 (総務課長)

交付金算出基準の見直しの中で検討します。敬老会の開催が困難な自治会もあるため、敬老会開催を前提とするかどうかについても考えて参ります。

連携協定の

現状と課題について

問 平取町では、課題克服に向けて多くの団体と連携協定等を結び、町の将来を考えて政策を展開していると思います。連携協定締結時には新聞報道や町広報誌で報道され、協定後の政策の展開に期待が地域からもあったと思いますが、締結後、年数を経過するに従い、十分な成果が町民に知られていないのではないかと思います。現状と周知方法について伺います。

答 (まちづくり課長)

現状、各担当課で積極的に取り組んでいます。現状を鑑みて一時休止している部分もあります。協定締結後数回の協議を進めても成果として発表できる段階に至らない協定もあります。現状を伝えられるように配慮して参ります。

問 協定を有効的に活用するにしても各協定を一括管理する部署が必要ではないでしょうか。ホームページの活用について伺います。

答 (まちづくり課長)

ホームページの活用については、担当課と協議しながら対応を検討します。協定の一元管理については、プロジェクトチーム会議等で協議・検討します。

※主な連携協定

介護人材の確保に関する包括連携協定
三井物産株式会社と平取町との連携協定
立命館アジア太平洋大学・北翔大学と平取町の連携協定
地域結婚支援事業連携協定
国立大学法人北海道大学院農学研究院大学農学院及び農学部と平取町の連携協定
公益財団法人アイヌ民族文化財団と平取町との包括連携に関する協定



△公益財団法人アイヌ民族文化財団との協定締結の様子

アイヌの伝統的工芸品の

周知方法について



まつざわ いくこ
松澤 久子 議員

問 令和2年度から始まったブランド化推進事業により、町外の会社、個人と町内の工芸家の方のコラボレーションで、これまでたくさんの商品が生み出されていますが、この事業は、売れるのが目的ではなく、伝統的工芸品の二風谷イタ、二風谷アットウシの価値を落とさないことが理念の一つとされています。しかしその販売方法はチカホイベント、オンラインショップ等町民にはあまり知られていないのが現状です。平取町民にこのような商品が作られているという事を知ってもらい、町外の人にも広めていただきために、買いやすい方法を考えてはいかがか。

答 (アイヌ施策推進課長)

これまでのブランド化商品は（一

社）ウレシバ、能作（株）で販売しており、継続的に売れています。また町民の方には、匠の工房、工芸伝承館ウレシバにも足を運んでいただき、ブランド化商品をお土産として活用していただきたいと考えます。

また、昨年の商品、約2000円のプレート地域飲食店で使っていたということ試みや、町のホームページ・まちだよりに新商品を掲載し、広く町民の皆様にも知ってもらうなどの取り組みも考えています。

問 平取町には「二風谷イタ」「二風谷アットウシ」や刺繍・織物などたくさんの伝統工芸品があります。一人でも多くの町民に身近に目に触れることができる機会を増やしていく工夫をしてはいかがか。

答 (アイヌ施策推進課長)

以前一度だけ本町地区文化祭に、伝統工芸品や丸木舟の展示をしたことがありました。今後は伝統工芸品を展示する場を設け、まちだより・ホームページ等で広く周知をし、町民の皆さんに見たり、触れたりしていただく機会を増やしたいと考えます。また、毎年2月中旬にシシリムカアイヌ文化祭を開催しており、

年々展示作品も増えて大変見応えがありますので、町民の皆さんにぜひ足を運んでいただきたいと思います。



△令和6年度コラボ商品
「ウトゥラノ」(プレート)
↑アイヌ語で「一緒に」

**総務文教・産業厚生
合同常任委員会**

4月30日開催

◆平取高校魅力化プロジェクト事業について

令和6年度の入学人数は6名でしたが、令和7年度は20名を超えることができたので、集中取組期間は一旦解除されました。町内の中学卒業見込数は年々減少しており、今後は内部進学率を5割程度に引き上げつつ、地域みらい留学生を増やしていく必要があります。そのための受皿として寮の新設、整備が必須となり

ます。

Q 寮の建設にあたり、財源を有利な起債、交付金等を検討中とある。寮に特化した使い方になるが、将来的に建物の他目的利用ができるのか。また、現在の寮に相当の改修費用をかけて整備しているが、寮が新設された後の活用は考えているのか。

A 幅広く利用できるよう、建物の複合化として別の機能を持たせるなど財源を検討しています。建物が空いた後は単身者の住まいや地域おこし協力隊等の拠点など、次の利用を考えていきます。

(松澤)

Q 寮を建てるのが今の時点で正しいのかどうか。

A 寮があることが高校魅力化の大きな要因の一つになるとご理解いただきたいと思います。

(町長)

Q 寮を建てるのであれば、最後まで使い切るんだという覚悟が必要。町の長期的な考え方をお聞かせ願いたい。

(木村)

取高校の存続を今後も恒常的に取り組んでいきます。

5月12日開催

◆ふるさと納税の取り組みについて

令和6年度の寄附額は令和5年度の2倍以上となりました。今年度の寄附額を3.5億円程度と見込んでおり、インスタグラムによる投稿や幌尻岳ガイド付プレミアム登山の実施などに取り組み、更なる増額を目指していきます。

Q ポータルサイトを介さない町独自での受付を多くしていけば、純利益が増えますが、これをもっと進めていけないか。

A サイトを通さない直接受付が一つでも多くなる方法の検討を進めていきます。

(観光商工課)

Q 人気の返礼品トマトジュースで2箱セットのほかに1箱を導入した理由は。

A 1人世帯や試しに飲んでみたという方のためです。好評のため今現在は在庫がなくなり、先行予約としています。

(観光商工課)

A 地域事業者の方と意見交換できる場を検討していきます。

(木村)

◆石丸謙二郎氏トークショー&幌尻岳記念登山の実施について

日高山脈襟裳十勝国立公園誕生一周年記念事業として行います。

Q 幌尻岳はアイヌ文化にとって重要な山なので、それが明確になるような取り組みをしてほしい。

A 日高山脈全体がアイヌ文化にとって重要だと捉えており、今後更にPRをしていきたい。

(町長)

◆本町みどりが丘住宅団地建替基本計画について

当団地は建設後50年以上経過し老朽化が著しく、また傾斜地にあり大規模な造成工事の必要も考えられるので、敷地全体の土地利用方針などを検討するため計画を策定します。

Q BOT方式での町のメリットとデメリットは。

A 初期投資が軽減されますが、20年経過後に所有権が町に移ることで、その時点での建物の劣化具合な

(松澤)

どを想定しきれないという点があります。
(建設水道課)

※BOT方式とは

20年の借上期間終了後に発注者自治体に施設の所有権を譲渡する方式。

Q 団地の周りに学校が4校ある。住宅と合わせて学校にもエネルギー供給をするようなバイオマス施設建設や太陽光パネル設置など取り組んでいくのか。
(井澤)

A ゼロカーボンを意識した建設を当然行います。庁内プロジェクトの中で、どのようなエネルギー供給形態ができるのかも協議していきます。
(建設水道課)

5月30日開催

◆平取町多目的機能型施設の運営に関する方針案について

本施設はアイヌ文化の学びの場として設置しており、目的に沿った宿泊者に限定することが旅館業法上、違法とならないか国に照会を行った結果、違法とならないとの整理がついたので、その解釈に基づいて運営していくことになります。

Q 本場に違法行為とならないのか。また、宿泊料金はどう設定するか。

のか。
(崎廣)

A 宿泊希望者が設置目的を認識した中で、本人が該当する客ではないと理解し宿泊をしなかったのであれば違法になりません。宿泊料金は地元業者にも理解を得たうえで、条例の範囲で決めていきます。
(アイヌ施策推進課)

6月3日開催

◆平取町多目的機能型施設の運営に関する方針案(経過報告)

宿泊者限定が宿泊拒否に該当するかとの照会に、静内保健所より「事前に設置目的を理解できるようにしたうえで限定することを了解したのであれば拒否したことになる」との回答がありました。

◆平取高校の寮新設について

平取町本町に2階建てあるいは平屋で40室程度の整備を検討中。

◆物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業について

地域商品券発行事業と生活支援事業に充当します。

Q 上限を5冊から3冊にしたリ、昨年は5日間で売り切れたことなどを周知すればもっと買いやすくなるのではないか。

なるのではないか。
(崎廣)

A ご意見をもとに検討します。
(観光商工課)



△プレミアム付商品券

総務文教常任委員会

6月3日開催

◆町税の不納欠損処分について

徴収の見込みがない税債権(4件)を地方税法に基づき不納欠損処分しました。

◆「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」の施行に伴う関係条例の整備について

国のシステム標準化に伴い、集合主税方式から単税方式へと移行するための条例を制定します。

6月19日開催

◆平取町DX推進計画の素案について

庁内業務の効率化と住民がより便

利に暮らせるようにするための方策(23項目)を盛り込んだDX推進計画(素案)を示しました。

Q 将来的に行政手続きがオンラインで可能になることですが、できない方への対応は。
(松澤)

A 研修会の開催や、集落支援員がすぐ対応できるような仕組みを考えていきます。
(総務課)

Q 防犯対策ですが、観光商工課の保管物が盗まれたとの報告がありました。早急に防犯カメラを導入してはと思いますが。
(松澤・千葉)

A 今回の盗難があった施設には直ちに設置します。DX推進計画の中でも防犯対策は優先順位を高めて進めていきます。
(総務課)

Q 医療DXによりスタッフの負担軽減を図ることはできるのか。
(金谷)

A 想定しているのは遠隔診療や電子処方箋の導入です。スタッフの負担軽減は技術の進歩によって可能になると思われます。
(総務課)

◆公益財団法人アイヌ民族文化財団と平取町との包括連携協定について

アイヌ文化の振興等並びに地域の課題に適切に対応し、地域社会の発展に寄与するため、財団と包括連携協定を結ぶことになりました。

産業厚生常任委員会

6月3日開催

◆国民健康保険病院経営強化プラン第1期改訂について

経営強化プランの令和6年度評価の結果、患者数や診療単価は概ね達成できました。医療相談件数等は専任職員を配置したことにより大幅に増加、一般会計繰入金は目標額以内となったものの、今後の繰り入れ見通しは厳しいと見込まれます。

Q 日高町との医療連携協定を締結予定とある。平取と門別国保で無い診療科を互いに補うことが大事だと考える。それを明記する内容となっているか。
(松澤)

A 協定案では明記していませんが、それらも考慮しながら今後日高

町との協議を進めて参ります。

(国保病院)

Q 人工透析の扱いは。
(木村)

A 門別国保病院と連携を図りながら、可能な支援体制の構築に努めます
(国保病院)

◆スマート農業・農業支援サービスの事業導入総合サポート緊急対策事業に係る農業支援サービスの立ち上げ支援事業について

農業従事者の大幅な減少により、スマート農業技術等を活用する農業支援サービス事業体の育成・活動の促進が町の農地利用には重要であり、町内で作業代行やスマート農業技術の有効活用による生産性向上支援等のサービスを新たに提供する事業体に対し、国費で569万円の機械導入支援を行う予定です。

◆麦・大豆生産技術向上事業について

国内の麦・大豆の生産基盤を強化し、安定供給体制を構築するため、びらとり小麦機械利用組合にソフト・ハードの両面から支援します。国費で3222万円の営農技術導入及び機械導入支援を行う予定です。



△農業機械の1つ
導入支援予定のロールベアラ
(飼料作物の収穫を行う)

審議した議案

第4回 臨時会

令和7年
4月30日

▼公の施設に係る指定管理者の指定

平取町多目的機能型施設の指定管理者に(株)平取町アイヌ文化振興公社を指定

▼一般会計補正予算(第1号)

国道237号線振内歩道整備に伴う道路照明灯移設工事

700万円を追加

▼専決処分報告

税制改正に伴う地方税法及び関係政令が改正され、令和7年3月31日に公布、翌4月1日施行されることから、平取町税条例の一部を改正する条例を専決処分したとの

報告を受け、承認しました。

第5回 臨時会

令和7年
5月30日

▼常任委員、議会運営委員の選任

2年の任期が満了したので、常任委員、議会運営委員を選考委員会により選任、正副委員長を互選しました。

※新たな委員会構成は次頁のとおり

▼平取町外2町衛生施設組合議会議員の補欠選挙

組合の求めにより議員の補欠選挙を実施しました。

当選人・木村英彦議員

▼財産の取得 次の2件を議決

・教育用パソコン(タブレット型)409台(児童生徒用351台、教員用58台)

・ルームエアコン26台(全小中学校普通教室等に設置)

▼一般会計補正予算(第2号)

本町緑ヶ丘団地実施設計業務委託料(計画の見直しによる減額)、国立公園一周年記念事業追加ほか
746万2000円を減額

第6回

定例会

令和7年

6月19日～20日

▼固定資産評価審査委員の選任

あしはろあき

蘆原宏昭氏（振内町）の選任に同意しました。

▼条例の制定

・地方公共団体情報システムの標準化に関する法律の施行に伴う関係条例

国のシステム標準化に伴い、現在導入されている集合主税方式を令和8年度から単税方式とするための関係条例を整備

▼辺地に係る総合整備計画の変更

事業の追加・変更による計画の変更

▼一般会計補正予算（第3号）

地域商品券発行事業補助金ほか

7611万円を追加

▼意見書案の提出

・第3回定例会及び第5回臨時会で各常任委員会に付託された意見書案の提出を求める陳情は、5件とも採択とするとの委員会報告であり、これを元に次の意見書案を提出、可決し、関係行政省庁へ送付しました。

○持続可能な学校の実現を目指す意見書

【提出者…金谷議員】

○地方財政の充実・強化に関する意見書

【提出者…崎廣議員】

○義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1／2への復元など教育予算拡充とゆたかな学びを求める意見書

【提出者…崎廣議員】

○道教委「これからの高校づくりに関する指針」（改定版）を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

【提出者…金谷議員】

○令和7年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

【提出者…中川議員】

・次の意見書案を提出、可決し、関係行政省庁へ送付しました。

○ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

【提出者…松澤議員】

総務文教常任委員長の井澤敏郎議員が去る5月14日に逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表します。

《新たな委員会構成》

名 称	委員長	副委員長	委 員		
議会運営委員会	松澤以久子	木村英彦	中川嘉久	金谷満	四戸正彦
総務文教常任委員会	金谷満	崎廣秀樹	松澤以久子	千葉良則	四戸正彦
産業厚生常任委員会	中川嘉久	萱野久彦	松澤以久子	木村英彦	四戸正彦
議会広報広聴常任委員会	松澤以久子	中川嘉久	木村英彦	金谷満	崎廣秀樹
			萱野久彦	千葉良則	四戸正彦

▼議会の仕組み▼

～議会について理解を深め、関心を持ってもらうために～⑧

一部事務組合議会（いちぶじむくみあいぎかい）

地方公共団体の事務の一部が市町村では対応できない、あるいは広域で取り組んだ方が効果的である等の理由で設立される組合のことで、その仕事が適正に行われているかをチェックするための機関として一部事務組合議会が設置されており、構成町の議会議員から組合議員を選出しています。平取町議会からは、次の組合へ議員を選出しています。

◆胆振東部日高西部衛生組合議会（安平町、厚真町、むかわ町、日高町、平取町で構成）

事務：し尿等処理 選出議員：崎廣議員、千葉議員

◆日高西部消防組合議会（日高町、平取町で構成）

事務：消防 選出議員：松澤議員、萱野議員、四戸議員

◆平取町外2町衛生施設組合議会（むかわ町、日高町、平取町で構成）

事務：ごみ処理 選出議員：中川議員、木村議員、金谷議員

出身地（前住所地）はどちらですか。

空知郡上富良野町出身です。

高校教員として順に上富良野町、福島町、函館市、釧路市、札幌市、森町、白老町、名寄市、そして平取町へ赴任しました。

平取高校校長

みつはし 三橋 孝臣

さん



教育をつうじて、一番大事にしていることは何ですか。

教育は単に知識を伝えるものではなく、こどもを豊かに育て、能力を引き出すことだと考えています。そこには人間としての魅力が不可欠な存在だとも思っています。私は、その人間としての魅力を失わないようにアップグレードを続けたいと思っています。

「平取町」に実際に来てみて、まちの印象は？

平取高校は道立ではありませんが、生徒の寮をはじめ、多大なご支援をいただいていることに感謝しかありません。募集停止せざるを得ない高校がある中、平取高校が存続できているのは、平取町役場や地域の方々に支えられ、大切にされているからだと思っています。

最後に、「今後の抱負」をお聞かせください。

まずは、地域に根ざした高校づくりのために、地元のみなさまのご協力をいただきながら、教育活動を進めていきたいと考えます。どうぞよろしくお願いいたします。

～あの人に聞く～

平取高校にたずさわってくださっている

あの方にインタビュー

出身地（前住所地）はどちらですか。

札幌生まれ札幌育ちの道産子です。

「平取町」に実際に来てみて、まちの印象は？

温かく優しい人ばかりだと感じてます。

職場をはじめ、子ども食堂や交流会、イベントなどでお会いした地域の皆さんそれぞれが笑顔で、親切にして下さり、安心感を感じました。私もそうなれるよう心がけたいと思いました。



平取高校学生寮ハウスマスター
(地域おこし協力隊)
こんだいら 権平 まゆ さん

数ある自治体の中から「平取町」を選んでくださったポイントは何ですか？

1番はまちづくり課の皆さんに、ご縁をつないでいただいたからです。

アイヌ文化に興味があったことや、豊かな自然と美しい景色もポイントでした。車さえあればアクセスもよいと感じてます。

最後に、「今後の抱負」をお聞かせください。

まだ現場へ馴染むのに精一杯ではありますが、地域おこし協力隊の名前の通り、平取を活性化するお手伝いを少しでもできればと思っています。何か楽しんでもらえるようなイベントも、協力隊員で力をあわせ実施できればと思います。よろしくお願いいたします。